

令和8年度

県立図書館アクションプラン

1 運営方針

県民の生涯学習に対するニーズに広く応えるよう図書館機能の充実を図ります。

・ 調査研究のための図書館

資料や情報の提供、書誌の作成等を行い、生涯学習のための図書へのアクセスの向上に努めるなど、情報化を推進します。

・ 図書館のための図書館

市町村や学校の図書館等を支援するとともに、関係機関と緊密に連携し、市町村等の図書館を通じて県民の利用ニーズに応えます。

・ 保存のための図書館

一般図書、郷土資料・新聞・雑誌等を広く収集・整理・保存するとともに、貴重な資料等を活用したふるさと教育を一層推進します。



2 特色

県立図書館は、県民の情報センターとして、県民の「読みたい、知りたい、調べたい」ニーズに応えるため、資料収集やレファレンス、情報提供に力を入れています。利用者がどこでも十分な図書館サービスが受けられるよう、相互貸借や横断検索などにより、市町村立図書館等をサポートしています。また、郷土関係資料を整備するなど、蔵書資料の充実に努めています。経験を積んだ司書職員と県内トップクラスの蔵書数により、満足度の高いレファレンスサービスを提供しています。

*レファレンスとは、利用者から寄せられる質問や相談に対して、司書が図書館の資料と機能を活用して、回答や解決のための情報提供をする援助のこと。

3 現状と課題

令和7年度末現在、蔵書冊数は1,096,889冊です。このうち郷土資料198,893冊、特設文庫39,293冊を所蔵しています。

令和6年度と比べると、来館者数は114,622人で4%増加しましたが、県内図書館蔵書横断検索システムの利用件数は161,751件で6%減少、貸出冊数は149,480冊で2%減少しました。一方で、催事件数は12件増加、利用者満足度は10%向上しました。

利用者アンケート等からは、次の意見・要望が挙げられています。

- ・ より多くの県民が利用できるよう、サービスや豊富な蔵書を積極的に発信してほしい。
- ・ 年齢層や障害の有無を問わず、誰もが利用できる居場所として確保・整備してほしい。
- ・ 子どもや若者の来館利用が増えるよう環境づくりに努めてほしい。

こうした意見を踏まえ、県立図書館の特色（豊富な蔵書、充実したレファレンス、市町村立図書館等への支援）を県民に広く周知するとともに、多様な人や世代に向けたサービスを展開していくことが求められています。

4 重点目標

多様な人・世代などのさまざまな県民の課題解決に寄与することを通じて地域文化の振興に貢献します。また、学校教育を支援し、子どもの読書活動の推進に寄与する図書館づくりを進めます。

5 重点事項

◎は最重点事項

(1) 多様な人・世代が集う魅力あるサービスの充実

◎多様な人や世代が利用・交流できる図書館とするため、子どもやその親世代なども気兼ねなく来館できるよう、2階「つながりのコレクションルーム」におけるテーマ展示やおは

なし会、交流イベントなどを定期的 to 実施し、多世代が集い、学び合い、つながる場としての役割を高めていきます。

◎障害の有無に関わらず誰もが不自由なく読書できるよう、拡大読書器等の読書支援機器や、視覚障害者等向けオンライン検索サービスの充実など、読書バリアフリー環境の整備を進めます。あわせて、読書バリアフリーに関する展示・体験会の実施や、特別支援学校や公共図書館担当職員向け説明会の開催など、普及啓発活動に取り組みます。

- ・レファレンスサービスを充実させ、利用者に満足してもらえる資料や情報を提供します。
- ・外国語絵本や英語多読資料の収集・貸出を継続し、利用者が外国の言語や文化に親しむ機会を提供します。また、外国人向け利用案内や資料の充実を図り、外国人の利用を促進します。
- ・高度な図書館サービスを目指し、各種研修会への参加を通じて図書館職員の資質向上を図ります。また、実践的な研修の機会を提供し、県内図書館への支援を強化します。

(2) 地域情報発信とユニバーサルアクセスの推進

◎地域研究やふるさと教育を推進するため、富山県に関連する企画展示を定期的に行い、生涯学習や学校教育で活用しやすい内容とします。また、展示に関連する文献リストを作成し、地域団体や学校を含む県民に広く提供します。さらに、郷土資料の博物館等への特別貸出を通じて、企画展や地域行事等での効果的な活用を支援します。

◎図書館システムを充実させ、インターネットによる資料情報提供を拡充するとともに、当館が所蔵する貴重な郷土資料のデジタル化を進め、誰もがいつでもどこでも利用できる環境整備に取り組みます。あわせて、県機関が作成する電子版行政資料を継続的に収集・保存・提供し、長期的な利活用を支援します。

- ・富山県の歴史、文化、自然など、郷土の理解に役立つ資料を広く収集します。また、郷土に関するレファレンスデータを蓄積し、地域情報の共有化を図ります。
- ・電子書籍を拡充し、より多くの県民がいつでも利用できる図書館づくりに努めます。
- ・広く県民に情報発信するため、SNS(X (旧 Twitter) など)を活用した広報を推進します。

(3) 学校教育活動への支援、関係機関等との連携・協働

◎県立学校等の学校図書館への団体貸出を推進し、授業や読書活動で活用できる資料を提供します。また、企画展示・出張展示など多様なプログラムの実施や、中高生の探究活動に対する資料提供・レファレンス・ワークショップ等の支援を通じて、学校図書館および教職員・生徒との連携を深めます。

◎公共図書館間および高等教育機関との連携を進め、相互貸借やレファレンス等の協力体制を拡充することで、遠隔地の利用者でも必要な資料に円滑にアクセスできる環境を整えます。あわせて、さまざまな情報資源を共有し、広域にわたり質の高い資料提供・情報サービスを展開します。

- ・県議会図書室と連携し、行政機関が求める資料や情報の提供に努めます。
- ・講演会や企画展示等を通じて、関係機関や企業との連携を図ります。また、ビジネスや社会生活に必要な情報に手軽に接することができるよう、雑誌スポンサー制度を充実させます。
- ・図書館見学、「14歳の挑戦」、図書館実習等を受け入れ、図書館での学びを支援します。

6 参考指標

指標名及び指標の説明	R5実績	R6実績	R7実績
(1)来館者数	107,055	109,943	114,622
(2)個人・他図書館・団体への貸出総数	154,800	152,266	149,480
(3)県内図書館蔵書 横断検索システム利用件数	167,058	172,017	161,751
(4)郷土資料アクセス件数	6,079	5,810	4,239
(5)催事件数(企画展示・講演会・研修会等)	59	57	69
(6)レファレンス件数	13,345	13,936	12,486
(7)利用者満足度(開館日数、蔵書数、職員態度等) %	69	79	88

※「利用者満足度」は利用者アンケートによるものです。